

**シーシーエス株式会社**  
**2012年7月期第2四半期**  
**決算説明**



**2012年3月14日**

**JASDAQ コード6669**

# 目次

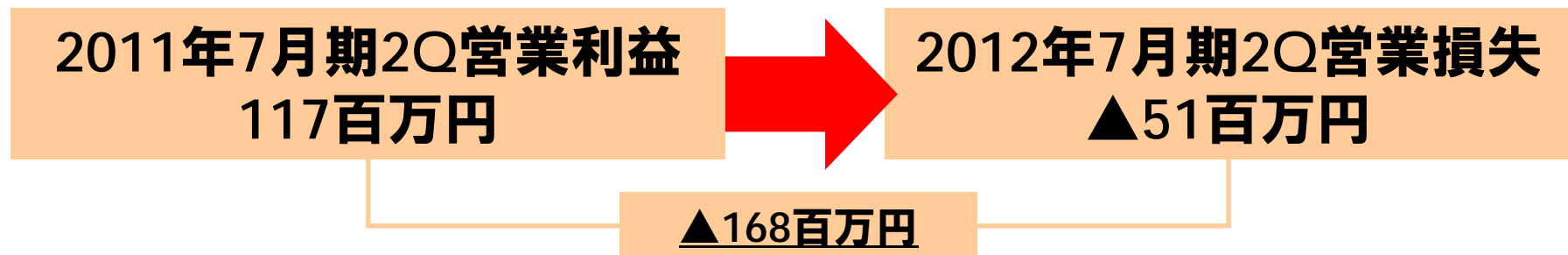
1. 2012年7月期 第2四半期決算概要
2. 2012年7月期 第2四半期事業分野別の状況
3. 通期計画について
4. 参考資料：会社概要

# 1. 2012年7月期 第2四半期決算概要

# 決算キーポイント

■国内LED照明は堅調の一方で、海外LED照明が円高と欧州危機の影響で軟調推移。

■FPTの赤字継続と新規事業の赤字拡大重く、営業利益は連結ベースで赤字化。



工業用照明事業	:	442百万円	⇒	267百万円
新規事業	:	▲147百万円	⇒	▲223百万円
フェアリープラントテクノロジー	:	▲178百万円	⇒	▲95百万円

# 2012年7月期第2四半期業績(連結)



(単位:百万円)

	2011/7期2Q		2012/7期2Q		変動	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/A]-1 (%)
売上高	2,608	100.0	2,500	100.0	▲107	▲4.1
売上総利益	1,568	60.1	1,434	57.4	▲133	▲8.5
販管費	1,450	55.6	1,486	59.4	35	2.4
営業損益	117	4.5	▲51	▲2.0	▲168	—
経常損益	101	3.9	▲78	▲3.1	▲180	—
当期純損益	49	1.9	▲104	▲4.1	▲153	—

	前年同期比	キーポイント
売上高	➡	欧州経済の後退により売上が減少
販管費	➡	前年同期比微増
営業損失	➡	新規事業の赤字拡大により営業損失へ
当期純損失	➡	赤字化へ

# 事業別の状況

(単位:百万円)

【売上高】	2011/7 期2Q	2012/7 期2Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	前年同期比 [B] / [A] - 1(%)
■LED照明事業	2,487	2,465	▲22	▲0.8
■植物育成プラント事業	33	35	2	6.0
■その他事業	87	—	▲87	—

LED照明事業は、欧州の経済危機、為替の影響により前年と比べ売上が減少しました。

(単位:百万円)

【営業利益】	2011/7 期2Q	2012/7 期2Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	前年同期比 [B] / [A] - 1(%)
■LED照明事業	297	43	▲253	▲85.2
■植物育成プラント事業	▲104	▲95	8	—
■その他事業	▲58	—	58	—

その他事業～野菜事業、レストラン・カフェ事業(その他事業)は2010年9月をもちまして撤退しました。

# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	11/7 期末	12/7 2Q末	負債・純資産	11 /7 期末	12/7 2Q末
現金及び預金	1,763	1,210	流動負債	2,956	1,834
受取手形・売掛金	1,324	1,183	固定負債	1,126	1,771
たな卸資産	1,025	1,096			
その他	167	144			
<b>流動資産合計</b>	<b>4,281</b>	<b>3,636</b>	<b>負債合計</b>	<b>4,082</b>	<b>3,605</b>
有形固定資産	1,704	1,698	資本金	461	461
無形固定資産	65	62	資本剰余金	1,513	1,513
投資その他の資産	127	123	利益剰余金	249	104
			為替換算調整勘定	▲127	▲163
<b>固定資産合計</b>	<b>1,897</b>	<b>1,884</b>	<b>純資産合計</b>	<b>2,097</b>	<b>1,915</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,179</b>	<b>5,521</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,179</b>	<b>5,521</b>

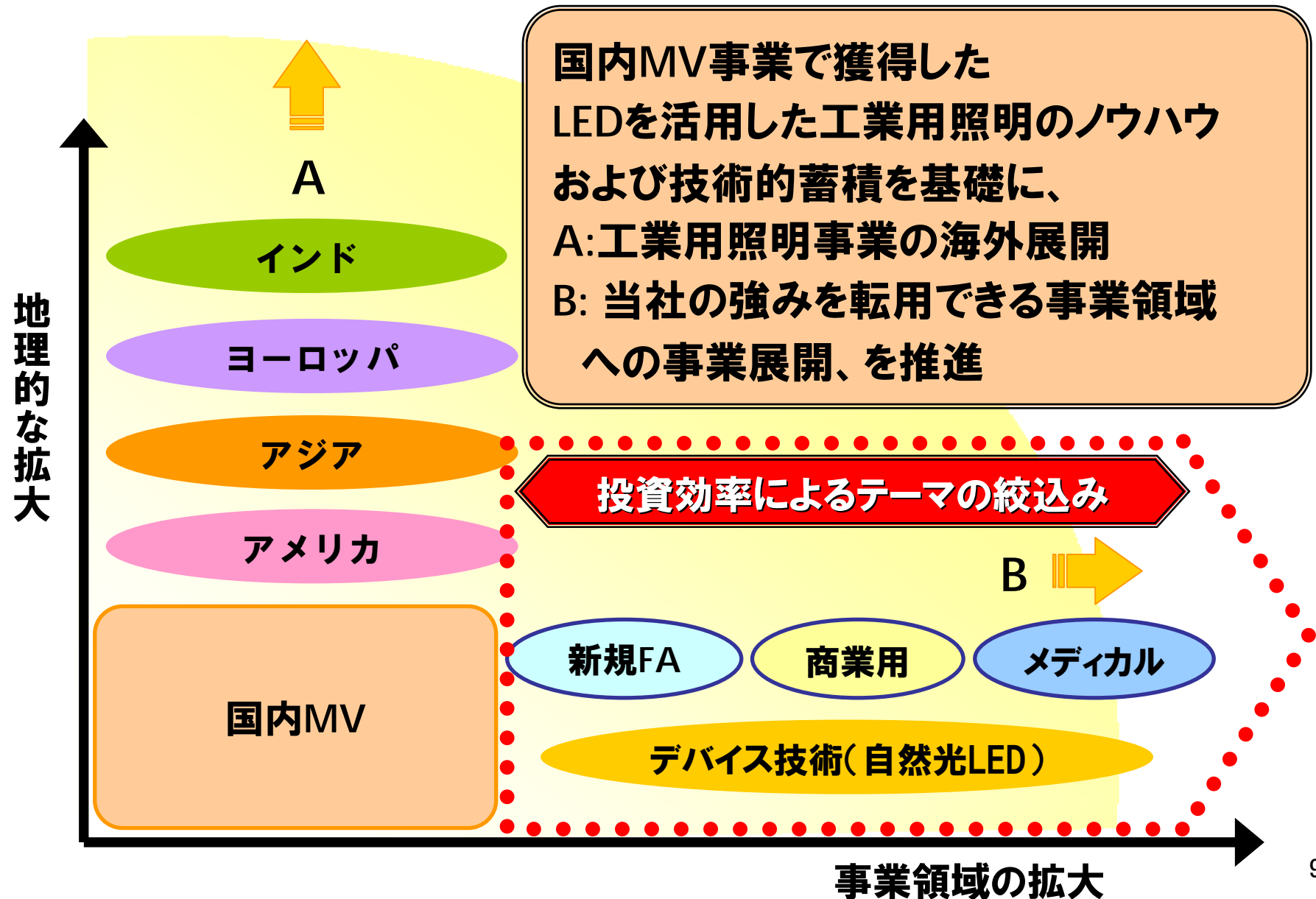
短期借入金を長期借入金へ借り替えしたこと等により、流動負債が減少し、固定負債が増加しています。

## 2. 2012年7月期第2四半期 事業分野別の状況

- ① 当社の事業戦略
- ② 工業用照明事業
- ③ 新規事業
- ④ 植物育成プラント事業

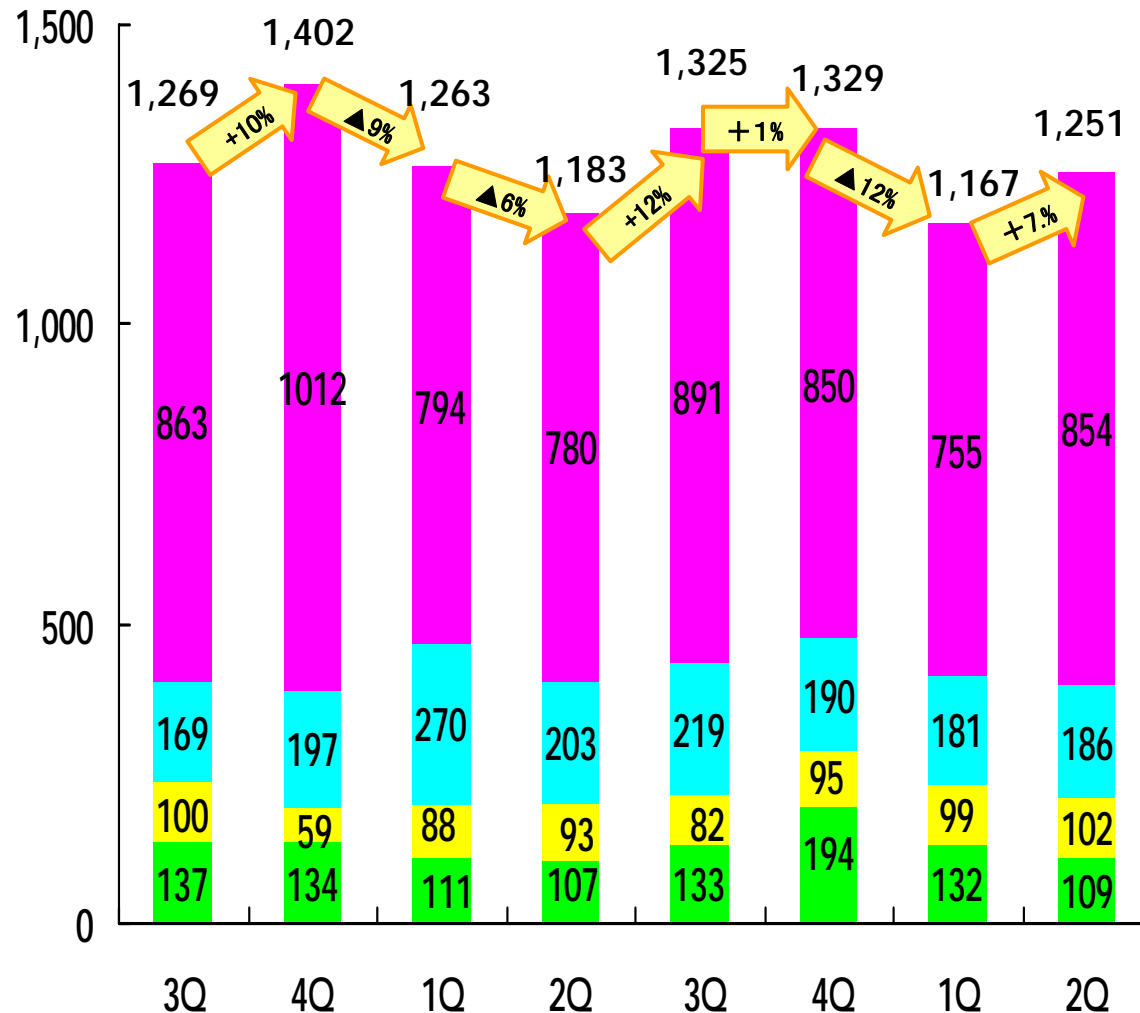


# ①当社の事業戦略



## ②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円) (2011年7月期3Q~2012年7月期2Q)

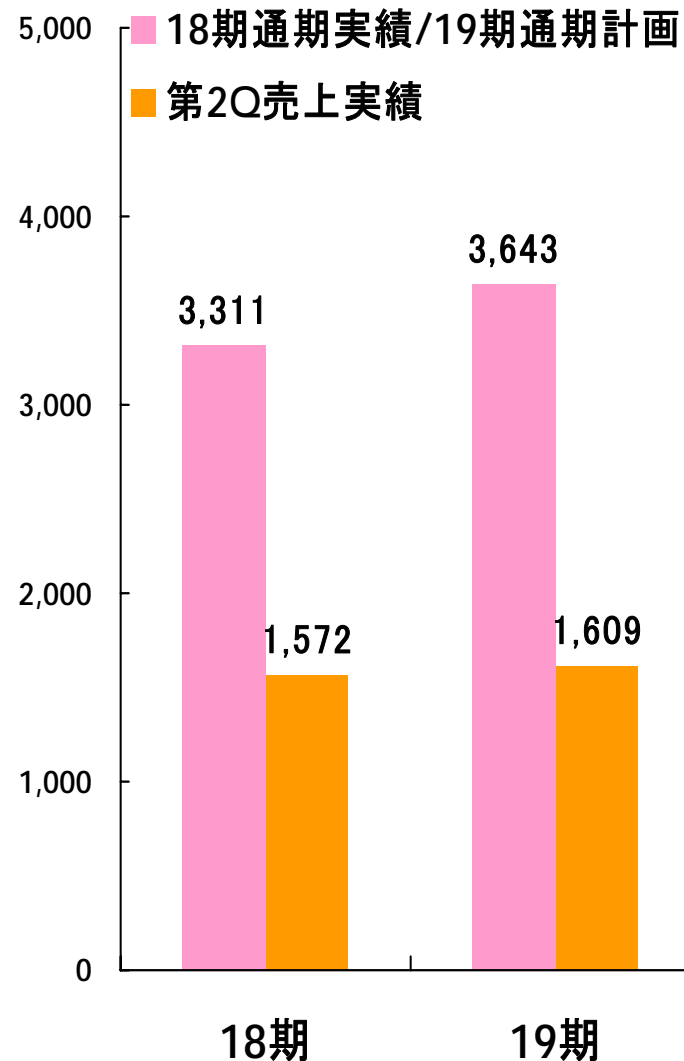


■ アジア工業用照明 ■ 北米工業用照明 ■ 欧州工業用照明 ■ 国内工業用照明

重要分野	国内業界状況
電子半導体 →	スマートフォン、タブレット PC向けは好調なもの、 PC向けは苦戦
太陽電池 二次電池 ↘	投資一巡、価格競争激化、 中韓メーカーの猛追で減 少傾向
自動車 →	東日本大震災やタイ洪水 の影響がほぼなくなり、回 復基調
三品 (食品・薬品・ 化粧品) →	製缶・容器・ペットボトルを 中心に堅調に推移 また薬品関連も安定して 推移

## ②工業用照明事業(国内)

(単位:百万円)



### 当社の状況

◎円高の影響により海外工場へのシフトは加速。国内での設備投資は抑制傾向。

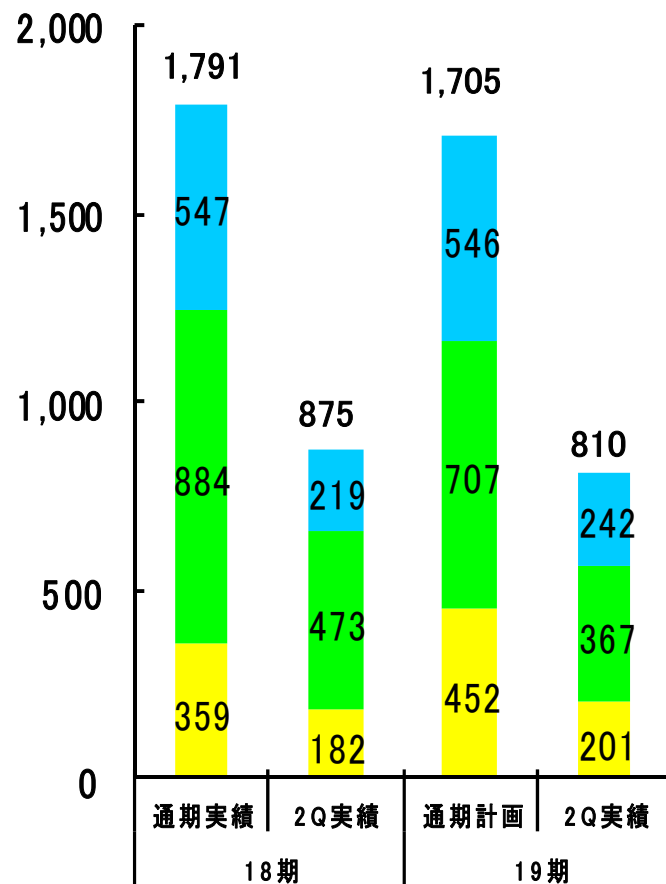
・電子・半導体業界はスマートフォン、タブレットPC向けは活況だったがPC需要が伸びず、売上は微増にとどまった。

・景気変動を受けにくい食品・薬品・化粧品業界は堅調に売上が増加。

・UV照射器、ライン照明の製品領域を拡大。加工から検査までトータルに照明を提案。新規顧客開拓に注力。

## ②工業用照明事業(海外)

(単位:百万円)



### 当社の状況

◎欧州では、欧州危機の影響により売上減少するも、北米・アジアにおいては売上は堅調に推移。

#### 【欧州】

欧州経済の後退やユーロ安の進行により売上は減少。

#### 【北米】

前期に注力した主要顧客への関係強化および、営業強化実を結び、総じて売上は堅調に推移。

#### 【アジア】

中国において品質の高さが評価され、売上伸長。

<2011/7 2Qレート>

1USD=83.46円 1EUR=111.24円 SGD=63.45円

<2012/7 2Qレート>

1USD=77.24円 1EUR=105.02円 1SGD=61.13円

## ②工業用照明事業(トピックス)

### 製品ラインナップを更に充実(新製品の投入)

- ・ラインセンサ用LED照明「LNSPシリーズ」、  
専用アナログ電源「PSB3-30024シリーズ」発売(2011年9月)

フィルムや木材等、シート状・平板状などの  
検査に最適。年々検査需要は拡大。



LNSPシリーズ



PSB3シリーズ

- ・大型品検査アプリケーションにも対応、  
高出力LEDバー照明「HLDL2シリーズ」開発 (2012年2月発売)

自動車の組み立て検査等、  
大型アプリケーションに最適



赤色

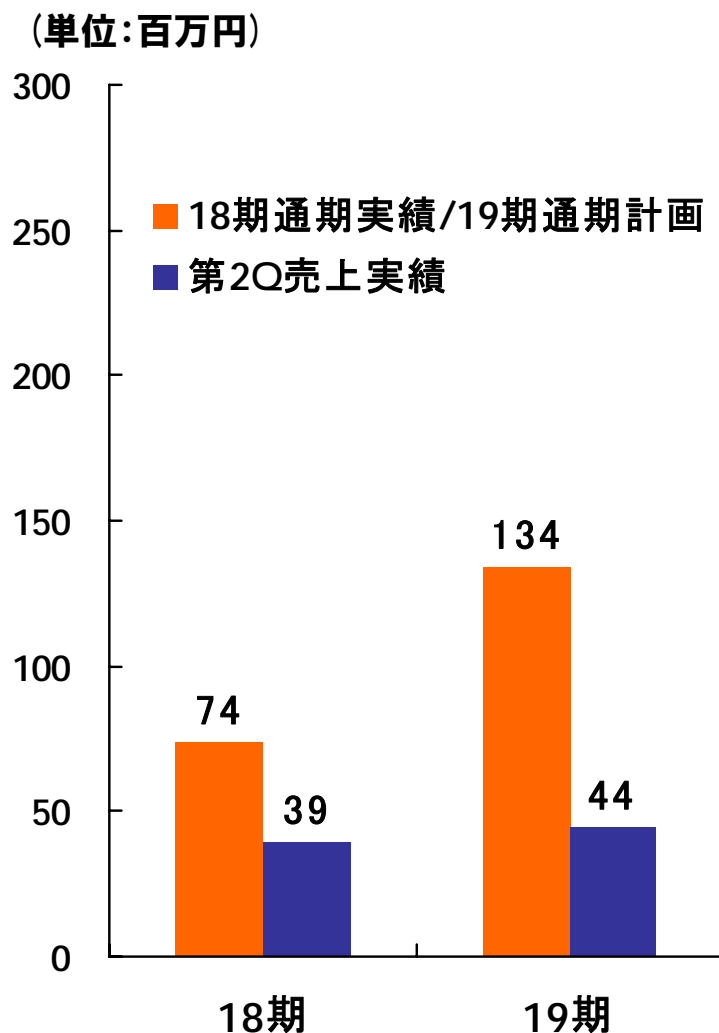


白色



赤外

# ③新規事業



## 当社の状況

◎業務提携・新製品リリースを推進するも、コストアップ重く、営業利益を圧迫。

- ・ウシオライティング株式会社とステージ・スタジオ照明をターゲットに業務提携を締結。「Cool Spot LED」を共同開発(2011年8月)。
- ・大学・研究機関向けに、植物研究用LED照明「IS-mini」を新たに開発・販売を図る。
- ・美術館・博物館向け展開を開始。
- ・メディカル向けの展開を加速。
- ・コンシューマー向け製品開発を中止、優位性を持って展開できる事業領域に特化へ。

### ③新規事業(トピックス)

## 自然光LED製品を中心とした製品ラインナップの拡充

- ・ステージスタジオ照明市場をターゲットに  
ウシオライティング株式会社と業務提携(2011年8月)



Cool Spot LED



- ・「自然光LED」搭載スポットライト
- ・Ra:97(平均演色評価数)
- ・華やかな衣装・人の肌・花・料理など、  
それぞれがもつ独特の色合いを再現
- ・ホテルや施設のバンケット、ウェディング会場、店舗、  
ショールーム、商業施設などで使用

- ・大学・研究機関等で、LEDを用いた植物育成等の研究用途に  
使用されるISシリーズ「IS-mini」の高光量モデルを発売(2011年12月)

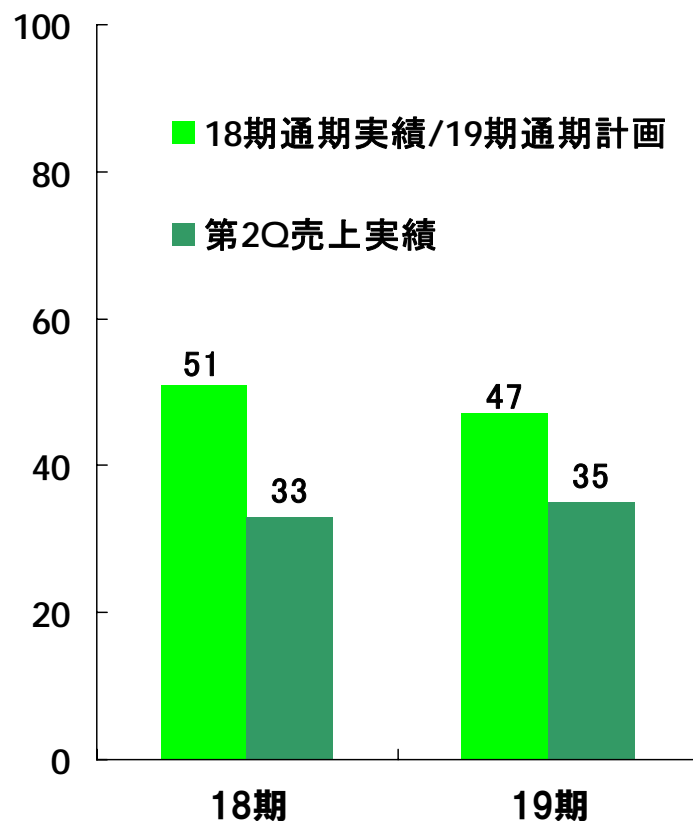
光量を従来比3倍にアップ。光量の調整幅が広がり、  
実験範囲の拡大をご提案。



IS-mini

# ④植物育成プラント事業

(単位:百万円)



野菜事業、レストラン・カフェ事業は  
2010年9月をもち撤退

## 当社の状況

◎アライアンスによる受託栽培を開始したものの、利益確保には至らず中止。

・2012年3月13日、  
植物育成プラント事業の廃止  
株式会社フェアリープラントテクノロジーを  
解散し清算する方針を決定



## 3. 通期計画について

# 通期業績見通しのポイント

■工業用照明事業は、国内を中心に堅調推移。

■新規事業は、BtoC事業展開を中止。

■FPTは、今期中に清算の方針。

【FPT清算による影響額】

区分	内容	金額	ポイント
個別業績	子会社への貸付金	765百万円 (当第2四半期末)	連結業績への影響なし
連結業績	固定資産売却損等 リース解約一時金等	590百万円 20百万円	売却条件によって減少

可能性としての最大値を試算

今期中に不採算な事業領域から撤退。

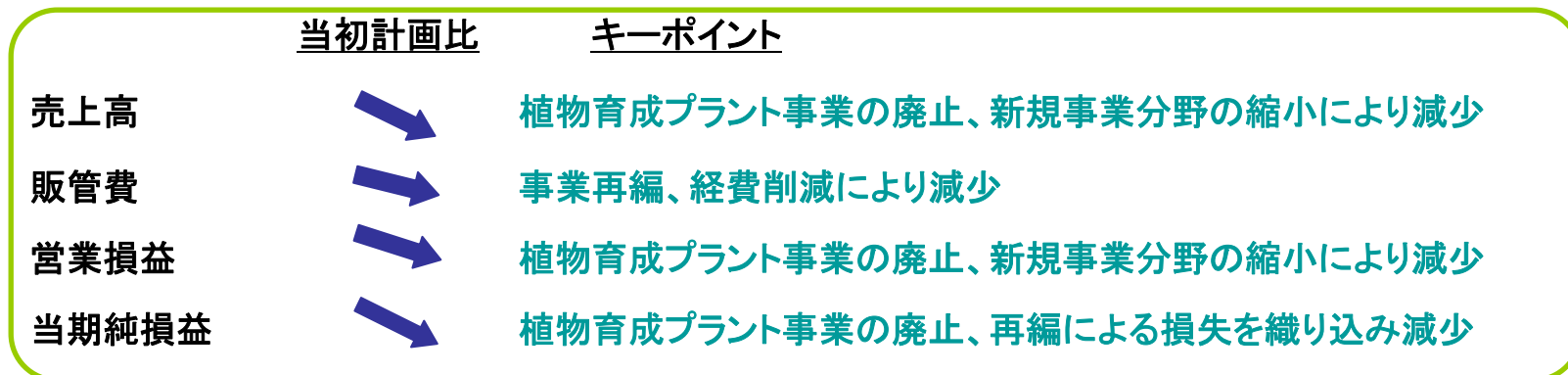
当社が他社優位性のある事業領域に集中・特化し、さらなる優位性の強化を図り、飛躍的な収益性向上へ。

# 2012年7月期計画(連結)



(単位:百万円)

	2012/7 通期				変動	
	当初計画		修正計画		当初計画比	
	金額 [A]	対売上比 (%)	金額 [B]	対売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	6,810	100.0	5,530	100.0	▲1,280	▲18.8
売上総利益	3,960	58.1	3,230	58.4	▲730	▲18.4
販管費	3,180	46.7	3,010	54.4	▲170	▲5.3
営業損益	770	11.3	220	4.0	▲550	▲71.4
経常損益	710	10.4	170	3.0	▲540	▲76.1
当期純損益	400	5.9	▲610	—	▲1,010	—



## 4. 参考資料 ～会社概要～

光を科学し、社会に貢献する

Creative Customer Satisfaction  
クリエイティブ カスタマー サティスファクション

お客様の満足を高めるための技術と  
製品をひたむきに追求し、  
企業活動を通じて社会の役に立ちたい

# 会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役会長 米田 賢治  
代表執行役社長 各務 嘉郎
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 461百万円
- 従業員数 連結 217名(連結)、179名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 20,660株  
A種優先株式 5,103株
- 株主数 普通株式 2,890名  
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe NV.  
/CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.  
株式会社フェアリープラントテクノロジー
- 拠点数 国内 6カ所 / 海外(連結子会社含む) 7ヶ所  
(2011年7月末現在)



本社(京都市上京区)

# 沿革

- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1994 画像処理用LED照明事業に特化
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場  
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)  
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)  
名古屋テストングルームを開設(名古屋市西区)
- 2005 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
- 2007 仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)  
KRPで研究開発事務所を開設(京都市下京区)  
山口大学との共同開発で自然光LED照明を開発
- 2008 シーシーエス光技術研究所を開設(京都市上京区)  
植物育成プラント事業に参画することを目的としてフェアリープラントテクノロジー社  
(2010年9月29日フェアリーエンジェル社より商号変更)を連結子会社化
- 2009 自然光LEDの店舗用照明を開発。民生・商業分野へ参入
- 2010 三菱化学株式会社との間で資本・業務提携を締結
- 2011 タイ・バンコクにCCS Asia PTE.LTD.駐在員事務所を開設  
CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTDを設立(インド)

## 参考資料:LED開発の歩み

- 1962年代 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発  
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上  
高演色性白色の開発

# シーシーエスグループの事業領域

## 工業用照明

マシンビジョン用照明分野  
(エリア照明・ライン照明)



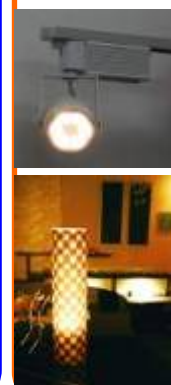
## 新規事業



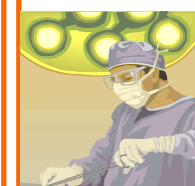
新規FA分野



民生・商業分野



メディカル分野

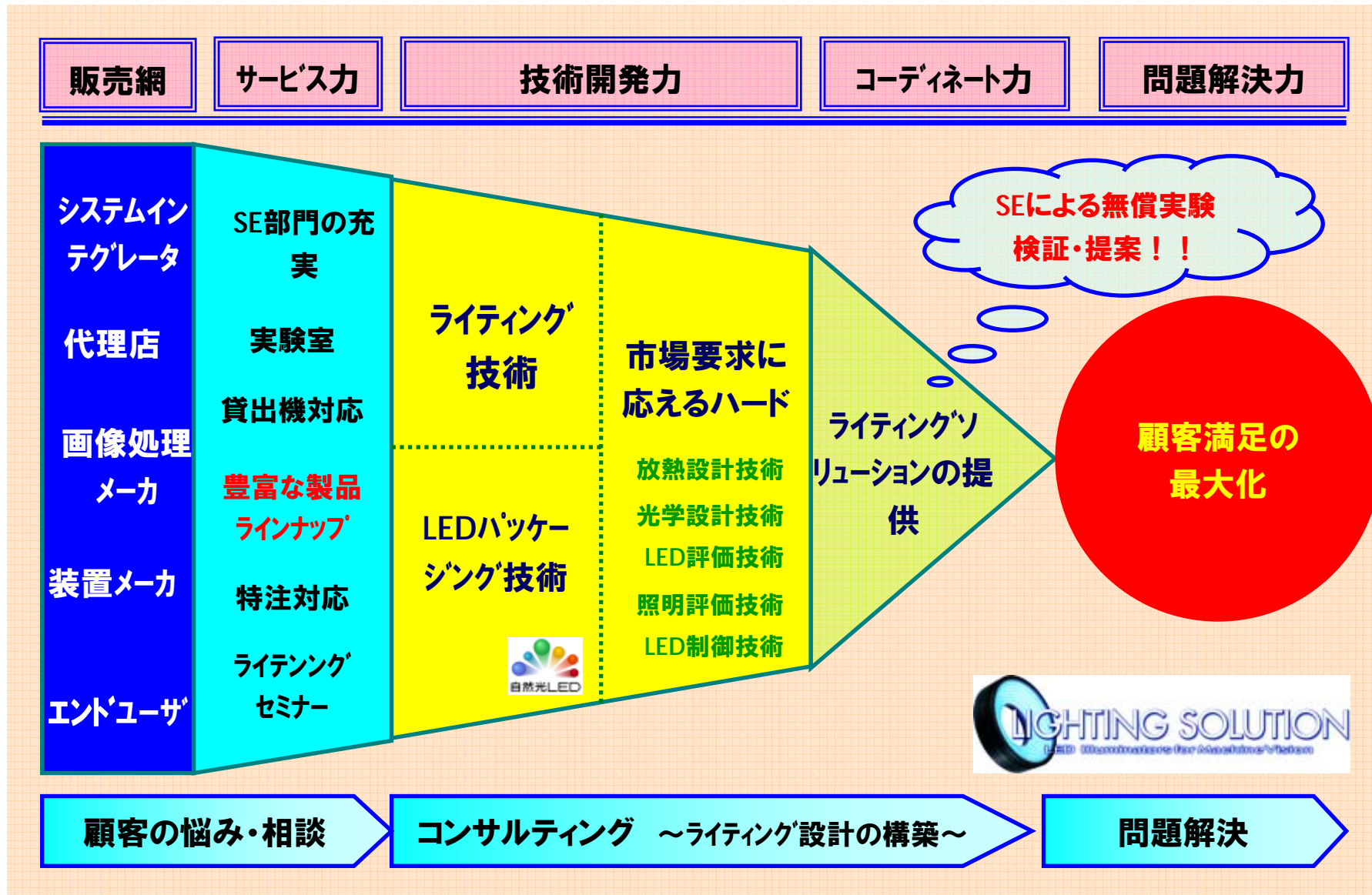


アグリバイオ分野





# 工業用照明事業のビジネスモデル

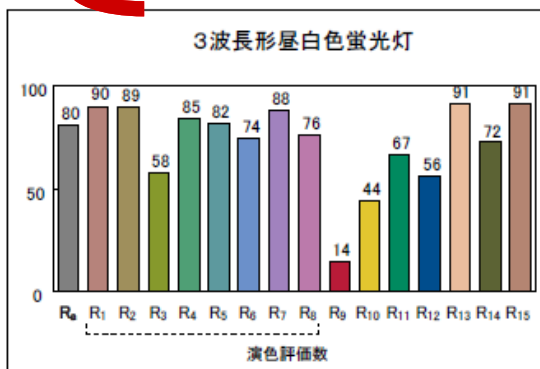
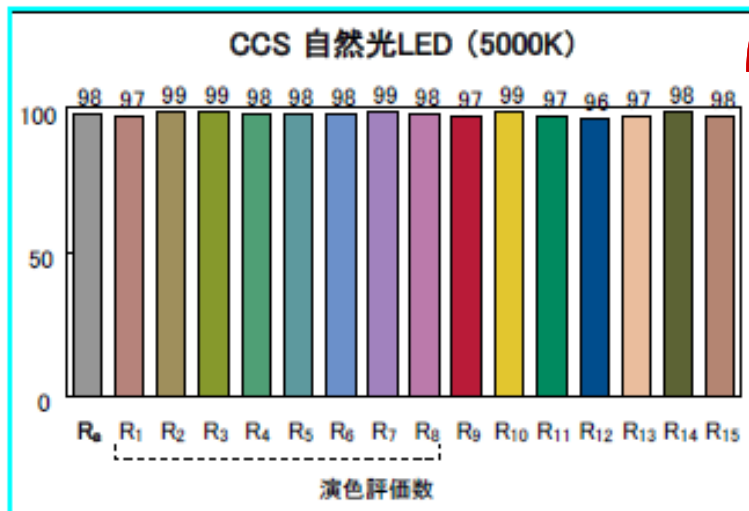


# MV用LED照明のリーディングカンパニー



LEDを集めることによって、  
照明として利用できることに着目。  
創業より19年間に約400機種の  
標準照明、その25倍の10,000種類  
以上の特別仕様照明を開発製造。

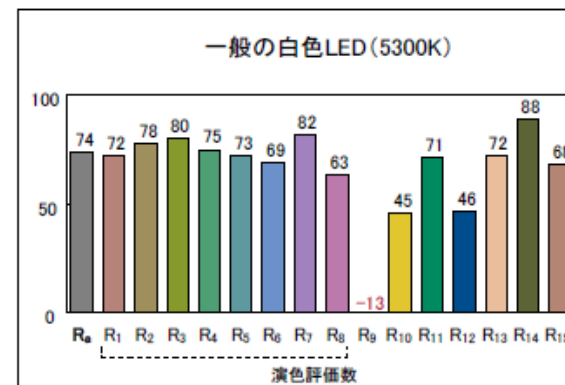
# シーシーエスのLEDデバイス技術



3波長蛍光灯 (Ra=70)

## シーシーエスの自然光LED (平均演色評価数 Ra:98)

・JIS規格で定義される色を平均98まで再現できる光である。



従来の白色LED (Ra:70)

# 自然光LED搭載照明の商品化に注力

## 商業施設の商品ディスプレイ用、ショーケース用照明



**アパレル**

## 美術館・博物館用照明



**美術館**

## 生鮮食品などのショーケース用照明



**食品**



**ホテル・会場**